

Title	『百科全書』研究：大事典の典拠と生成
Sub Title	Studies on the encyclopedie
Author	鷲見, 洋一 (Sumi, Yoichi) 井田, 尚 (Ida, Hisashi) 井上, 櫻子 (Inoue, Sakurako) 真部, 清孝 (Manabe, Kiyotaka) 小嶋, 竜寿 (Kojima, Ryuji) 逸見, 龍生 (Henmi, Tatsuo) 隠岐, さや香 (Okii, Sayaka) 小関, 武史 (Koseki, Takeshi) 寺田, 元一 (Terada, Motoichi)
Publisher	
Publication year	2018
Jtitle	科学研究費補助金研究成果報告書 (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>『百科全書』に散在する典拠データへの関心が私たちの研究の出発点であった。この大事典は16世紀から18世紀にかけての複雑なテキスト間の照合関係の歴史に与しており、コピー・ペーストこそが項目著者の常套手段だった。私たちが開発するデータベースは『百科全書』に含まれる無数の典拠情報を検討する「典拠研究」を実践することで、この歴史に迫ろうとするものである。抽出するデータは「著者」と「タイトル」に関するもので、それらの多くが不完全な形で表記されているため、常時「正規化」という厄介な作業を強いられる。</p> <p>The starting point for our study was curiosity for many bibliographical references in the Encyclopedie. The text of the french dictionary is part of a complex intertextual history from the sixteenth to the eighteenth centuries. Copy and paste are frequently used by authors in their contributions and our database is specially designed to provide access to this intertextual history by activating a "source criticism" devoted to the study of numerous references contained in the text of the Encyclopedie. The bibliographical metadata that we extract from the text of the Encyclopedie is related to "titles" and "authors". Many of them are always present in an imperfect way, abbreviated or omitted, so a cumbersome task of restoring the whole notation by "normalization" is absolutely required.</p>
Notes	研究種目：基盤研究(B)(一般) 研究期間：2012～2017 課題番号：24320065 研究分野：人文学
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KAKEN_24320065seika

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

平成 30 年 6 月 5 日現在

機関番号：32612
 研究種目：基盤研究(B) (一般)
 研究期間：2012～2017
 課題番号：24320065
 研究課題名(和文) 『百科全書』研究 大事典の典拠と生成

研究課題名(英文) Studies on the Encyclopedie

研究代表者

鷲見 洋一 (SUMI, YOICHI)

慶應義塾大学・文学部(三田)・名誉教授

研究者番号：20051675

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,000,000円

研究成果の概要(和文)：『百科全書』に散在する典拠データへの関心が私たちの研究の出発点であった。この大事典は16世紀から18世紀にかけての複雑なテキスト間の照合関係の歴史に与しており、コピー・ペーストこそが項目著者の常套手段だった。私たちが開発するデータベースは『百科全書』に含まれる無数の典拠情報を検討する「典拠研究」を実践することで、この歴史に迫ろうとするものである。抽出するデータは「著者」と「タイトル」に関するもので、それらの多くが不完全な形で表記されているため、常時「正規化」という厄介な作業を強いられる。

研究成果の概要(英文)：The starting point for our study was curiosity for many bibliographical references in the Encyclopedie. The text of the french dictionary is part of a complex intertextual history from the sixteenth to the eighteenth centuries. Copy and paste are frequently used by authors in their contributions and our database is specially designed to provide access to this intertextual history by activating a "source criticism" devoted to the study of numerous references contained in the text of the Encyclopedie. The bibliographical metadata that we extract from the text of the Encyclopedie is related to "titles" and "authors". Many of them are always present in an imperfect way, abbreviated or omitted, so a cumbersome task of restoring the whole notation by "normalization" is absolutely required.

研究分野：人文学

キーワード：百科全書 メタデータ 情報工学 辞書史 データベース 啓蒙主義 18世紀 書誌学

1. 研究開始当初の背景

(1) 国内・国外の研究動向及び位置づけ

18世紀フランス最大の百科事典『百科全書』に関する研究史上で最大の分水嶺をなすのは、ジャック・ブルースト、ジョン・ラフらによる本格的な実証研究が次々と刊行された1960年代であった。資料の緻密な読解と体系的な方法論に基づいたこれらの基本研究を出発点として、20世紀末までに、『百科全書』はかつてないほど動的で混成的な、新しい側面から捉えられるようになった。また、21世紀に入ってから『百科全書』の電子出版が種々試みられた。アメリカ・シカゴ大学のArtfl『百科全書』プロジェクト・サイト、フランス国立図書館の提供する電子サイトGallica、Wikisource版『百科全書』などであるが、コンピューターを駆使してえられたデータベースの成果にはおのずと限界があることも否めない。日本では1950年代に日の目を見た、京都大学人文科学研究所による先駆的な共同研究が嚆矢といえるが、もっぱら研究の範囲を思想史に限定して行われていたため、この巨大な百科事典の全体を展望するような見通しは拓かれなかった。

(2) 人文学と電子メディアの協力

そこで私たちは、人文学系研究者による「読み」を主体とした『百科全書』本文の「典拠情報」調査に基づき、電子メディアを活用しつつ、文学研究ですでに大きな成果を挙げているテキスト「生成過程」の研究方法を、百科事典という巨大な資料体に適用するという、無謀ともいえる試みに挑戦しようとした。

2. 研究の目的

『百科全書』パリ・オリジナル版全17巻の本文について、テキストの生成に関わる書誌情報を、「『百科全書』典拠情報データベー

ス」としてインターネット上に公開することを目的とする。

3. 研究の方法

私たちが『百科全書』本文テキストから抽出する典拠メタデータは、「標題」と「著者」の2種である。その多くは本文中では略述されていることが多いので、「正規化」によって表記を完全復元する作業が必須である。典拠メタデータは、これまでアメリカのシュワップを中心とするグループによって刊行された浩瀚な『インヴェントリ』でも回避されている大規模データ群であり、人文系の研究者が逐一テキストを読み込む営みを介してしか容易に抽出できない特徴を持つ意味で、画期的な成果が期待できるものである。

4. 研究成果

(1)『百科全書』第1巻典拠メタデータ抽出作業の完了。成果の一部が以下の(2)に収録されている。後続巻についても、順次、新たに科研費を取得して抽出作業を進める予定である。

(2) 単著『「百科全書の時空」』刊行

フランス人共同研究者の寄稿を含め、科研費メンバーが執筆した大型の成果本。ただし、刊行費用は私費で賄っている。巻末に(1)で述べた『百科全書』第1巻典拠メタデータを部分採録している。

(3) 研究報告誌『「百科全書」・啓蒙研究』刊行。研究会のメンバー中心に、『百科全書』とその周辺の啓蒙思想・文学・美術をめくり、研究成果を公表する器として研究誌を創刊。期間内に計4号を刊行した。

(4) 「百科全書」・啓蒙研究会開催

鷲見が中心となり、慶應義塾大学で10年にわたって、月一度の割合で継続されてきた『百科全書』研究会の活動が起点である。の

ちに『「百科全書」・啓蒙研究会』に発展した本研究会は、2007年より基本文献であるJ. プルーストの博士論文『ディドロと「百科全書」』を精読することから始め、続いて『百科全書』初期巻数冊の書誌情報を抽出し、主要項目の会読を行い、今日、『百科全書』研究においていかなる新たな切り口が可能か模索してきた。

(5) 国際研究組織 ENCCRE への協力

フランス科学アカデミー、およびフランス、スイスの複数の大学、研究所が共同で運営する『百科全書』電子批評版(ENCCRE)作成チームと国際共同研究を進めてきた。日本側、そしてフランス、スイス側の研究者が個別に行ってきた成果を集約し、共同で『百科全書』への注釈作成作業を進めることで、これまで研究の掘り下げられてこなかった分野の項目、あるいは等閑視されてきた寄稿者の執筆項目の生成研究に共同で挑む点に革新性がある。イントラネットを利用した情報埋め込み作業、ENCCRE サイトを利用した成果のウェブ公開という方法も、デジタル人文学の現況に鑑みて、画期的である。

(6) 国際研究集会開催

2012年ENCCREのコアメンバーを慶應義塾大学に招聘し、「啓蒙思想と『百科全書』に関する日仏研究集会」を行った。この時の研究報告の一部については、日本語に翻訳して、2018年3月に単行本『百科全書の時空』として刊行した。

(7) 国際研究集会への参加

代表者鷲見は2度にわたり国際18世紀学会(2007年モンペリエ, 2011年グラーツ)で、『百科全書』研究に関わるラウンドテーブルを主催し、日本での研究現状を報告するとともに、欧米の18世紀学者と研究の

現状について意見交換してきた。また、分担者数名と共に、2013年南仏のリュミニエにて ENCCRE メンバーと合宿を行い、『百科全書』電子批評版作成のための検討会を行った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計12件)

井上櫻子、サン＝ランベールの道徳思想

『百科全書』項目「利益 « Interet (Morale) »」典拠研究、慶應義塾大学日吉紀要フランス語フランス文学、査読無、65、2017、pp.55-66

INOUE Sakurako, Saint-Lambert, de l'article « Luxe » aux *Saisons*, Revue d'histoire littéraire de France, 査読有, 117/3, 2017, pp. 521-527

井上櫻子、『百科全書』の無記名項目の執筆同定 項目「利子、利息 Interet (Economie politique) の場合、慶應義塾大学日吉紀要フランス語フランス文学、査読無、63、2016、pp.19-30

鷲見洋一、共時性のなかのディドロ 1762年史への序論 (上)(中)(下) 思想(岩波書店)、査読無、1079号、1081号、1082号、2014年3月号、5月号、6月号、pp. 7-30、157-178、55-84

井田尚、外部の思想から思想の外部へ 哲学者ディドロの知的冒険の三つの局面、思想(岩波書店)、査読無、1076号、2013、pp.286-302

寺田元一、『生理学要綱』の間テクスト的読解 ハラー『生理学初歩』との典拠関係を中心に、思想(岩波書店)、査読無、1076号、2013、pp.187-212

井上櫻子、サン＝ランベールの『四季』と『百科全書』 第二歌「夏」についての一考察、慶應義塾大学日吉紀要、フランス語フランス文学、査読無、57号、2013、pp.1-10

逸見龍生、形而上学の時間と哲学の時間
『百科全書』デイドロ執筆項目「靈魂」の
生成論的解釈学の試み、日仏哲学研究、査読
無、18号、2013、pp.16-30

逸見龍生、時間・知識・経験 初期デ
イドロ思想の形成におけるベーコン主義医学
史の位置、思想(岩波書店)、査読無、1076
号、2013、pp.158-186

KOJIMA Ryuji, Le Dictionnaire universel de
commerce dans l'Encyclopedie, Recherche sur
des articles dans le domaine du commerce, 百科
全書』・啓蒙研究論集、査読有、2号、2013、
pp. 259-271

SUMI Yoichi, « Comment les Italiens lurent-
ils le premier tome de l'Encyclopedie ? — au
sujet des deux reditions italiennes du
dictionnaire parisien », 百科全書』・啓蒙研究論
集、査読有、2号、2013、pp. 1-18

鷺見洋一、巨大量への片思い — 図書館、
アーカイヴ、百科事典との交友録 —、『私立
大学図書館協会会報』、査読無、39号、私立
大学図書館協会、2013、pp.75-87

〔学会発表〕(計12件)

① INOUE Sakurako, « Article < INTERET
(morale) > », Seminaire de l'ENCRCRE, 招待講演、
2018

② INOUE Sakurako, Saint-Lambert et Rousseau,
Seminaire Jean-Jacques Rousseau, 招待講演、
2017

SUMI Yoichi, *Le Neveu de Rameau* hier et
aujourd'hui, Journee *Le Neveu de Rameau* a la
Sorbonne, 招待講演、2017

SUMI Yoichi, *Le Neveu de Rameau* dans sa
descendance internationale, Societe Diderot, 招
待講演、2017

SUMI Yoichi, A la recherche des sources du

grand dictionnaire: une etude genetique de
l'Encyclopedie, What is the Enlightenment? New
answers to the old question, 2017

INOUE Sakurako, < MELANCOLIE >, Saint-
Lambert, Seminaire de l'ENCRCRE, 招待講演、
2017

小嶋竜寿、『百科全書』における織物
産業に関する知識受容の諸相、『百科全書』・
啓蒙研究会、2016

鷺見洋一、近代ヨーロッパにおける偽
善と偽悪の問題 — ルソーからアール・ヌー
ヴォーまで、欧米の文化、招待講演、2016年

小嶋竜寿、電子版『百科全書』の活用
と課題、日本十八世紀学会、招待講演、2015

TERADA Motoichi, Diderot et le milieu ;
en relation, avant tout, avec un vitaliste, Menuret
de Chambaud (1739-1815), Recherche
hypothetique sur la question : pourquoi Diderot
consacre-t-il peu de part au milieu dans les
Elements de physiologie ?, 14th International
Congress for Eighteenth-Century Study, 2015

INOUE Sakurako, La pensee economique de
Saint-Lambert : de l'article Luxe aux Saisons,
14th International Congress for
Eighteenth-Century Study, 2015

HEMMI Tatsuo, Philosophie et medecine :
Diderot, traducteur du Dictionnaire universel de
medecine de Robert James, 14th International
Congress for Eighteenth-Century Study, 2015
〔図書〕(計9件)

逸見龍生・小関武史(編)『百科全書の時
空典拠・生成・転位』法政大学出版局, 406 p.,
2018

鷺見洋一、寺田元一、逸見龍生(編)『百
科全書』・啓蒙研究論集(Recueil d'etudes sur
l'Encyclopedie et les Lumieres), 『百科全書』研

研究会、第4号(2017)137p.

HENMI Tatsuo, *Lecture critique de Diderot et de l'Encyclopedie : Genese, Dynamique et Contexte*, Niigata University Scholars Series, v. 16, 2016, 235p.

HENMI Tatsuo, *Stephane Lojkine et Adrien Paschoud (dir.), Temporalite et savoirs*, Presses Universitaires de Provence, 2016, 328p. (81-92)

Simon Gallegos Gabilondo, Takeshi Koseki, Gilles Palsky, Evgeniy E. Rychalovsky, Nicolas Verdier, M. A. Petrova, K. Kuntzel-Witt, J. F. Furtado, D. Kopelev, L. Gauci, M. Frumin, S. Mezine, N. Plavinskaia, P. Zaborov, Serguei Karp, K. Goltsova, E. Lebedeva, E. Sharnova, M. A. Pozharova, M. Schippan. *Le Siecle des Lumieres. V. La Geographie a l'epoque des Lumieres: entre imaginaire et realite*, Moscou, Naouka, 2015, 584 p. (27-41)

鷲見洋一、寺田元一、逸見龍生(編)『百科全書』・啓蒙研究論集(Recueil d'études sur l'Encyclopedie et les Lumieres)『百科全書』研究会、第3号(2015)134p.

鷲見洋一、小嶋竜寿『「百科全書」—情報
の玉手箱をひもとく—』、慶應義塾図書館、
2013、92p.

鷲見洋一、寺田元一、逸見龍生(編)『百科全書』・啓蒙研究論集(Recueil d'études sur l'Encyclopedie et les Lumieres)『百科全書』研究会、第2号(2013)288p.

鷲見洋一、寺田元一、逸見龍生(編)『百科全書』・啓蒙研究論集(Recueil d'études sur l'Encyclopedie et les Lumieres)『百科全書』研究会、第1号(2012)239p.

6. 研究組織

(1)研究代表者

鷲見 洋一(SUMI, Yoichi)

慶應義塾大学・文学部・名誉教授
研究者番号:20051675

(2)研究分担者

井田 尚(IDA, Hisashi)
青山学院大学・文学部・教授
研究者番号:10339517

井上 櫻子(INOUE, Sakurako)
慶應義塾大学・文学部・准教授
研究者番号:10422908

真部 清孝(MANABE, Kiyotaka)
慶應義塾大学・文学部・講師(非常勤)
研究者番号:40704250

小嶋 竜寿(KOJIMA, Ryuji)
慶應義塾大学・文学部・講師(非常勤)
研究者番号:50704269

逸見 龍生(HENMI, Tatsuo)
新潟大学・人文社会・教育科学系・教授
研究者番号:60251782

隠岐 さや香(OKI, Sayaka)
名古屋大学・経済学研究科・教授
研究者番号:60536879

小関 武史(KOSEKI, Takeshi)
一橋大学・大学院法学研究科・教授
研究者番号:70313450

寺田 元一(TERADA, Motoichi)
名古屋市立大学・大学院人間文化研究科・
教授
研究者番号:90188681